

法務省“社会を明るくする運動”中央推進委員会主催

第６７回“社会を明るくする運動”作文コンテスト

**みんながえがおでくらせるように**

宮城・佐々木　美羽

　私は、子どものことをけったり、なぐったりする親がいることをテレビで見ました。

（何で、自分の子どもに、そんなことをしなきゃいけないの。）

　私は、ふしぎな気持ちと、かなしい気持ちで、心がいっぱいになりました。

（お父さんやお母さんにこんなことをされて、どんなに心がきずつくのだろう。）

（どうして、大人なのに、人の気持ちがわからないんだろう。）

と、私は、こんなことをする大人の気持ちがぜんぜんわかりませんでした。

　私の学校にも、友だちにいやなことをしたり言ったりする人がいます。

　私もいやなことを言われたり、されたりしたことがあるけど、そう言うことは、あまり気にしていません。

　なぜかというと、お母さんに、

「社会にはいろいろな人がいてね。心がきずついていて、人にわるいことをしてしまう人もいるんだよ。でも、わるいことをする人も、さいしょからわるい人じゃなかったんだよ。だれかが、こまっていることに気づいてあげることができれば、わるいことをしなかったかもしれないね。自分のことがすきになれたら、そんなことをしなかったかもしれないね。だから、そういう人のこともわかってあげないとね。」

と教えてもらったからです。

　それから、先生にも、

「人にこうげきをしそうになったり、いやなことをされてイライラしそうになったりした時は、六秒まつこと。」

の大切さを教えてもらいました。

　私は、少しでも、わるい人が少なくなればいいなあと思っています。

　だから、私は、早く大人になって、わるいことをする人を少なくしたいなあと思っています。

　私の夢はお医者さんになることです。私は、わるいことをする人の心の病気をなおしたり、わるい人がいなくなるお薬も作ってあげたりしたいと思っています。私の病院に来た人は、みんな心も体も元気にして、えがおでかえしてあげます。

　それから、もう一つの夢は、すてきなお母さんになることです。

　お母さんのしごとは、子どもをそだてるのがしごとです。だから、私が、お母さんになって、私よりも、もっとすてきな子どもを育てたいです。そして、私よりも、もっともっとすてきなお母さんやお父さんになってもらうようにがんばります。

　すてきな人がふえて、いい町、いい日本になっていくように。私からはじめる「すてきリレー」をスタートします。

　みんながえがおでくらせるように。